

事業コード	H22-建-新-03		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2485	
路線名等	一般県道 川添下浜停車場線		担当課長名	大塚 行雄	
箇所名	秋田市下浜羽川		担当者名	佐藤 秀治	
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通の整備	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進	

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H28 (6年)		総事業費	8.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L=1,800m、幅員W=6.0(8.5)m (1.25+3.00+3.00+1.25)						
事業の立案に至る背景	<p>川添下浜停車場線は、秋田市雄和黒瀬から秋田市下浜羽川に至る一般県道である。沿線住民の生活道路として、また、夏期には下浜海岸と内陸部を結ぶ観光道路としても利用されている。</p> <p>このうち地域内は、家屋が密集しており幅員も狭く急カーブも連続しているため、大型車のみならず普通車同士のすれ違いも困難な状況である。</p> <p>また、通学路指定路線になっているものの歩道もないため、非常に危険な状態で通学していることから、円滑な交通の確保及び安全安心な生活空間の確保を図るため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>通学路における児童・生徒の安全確保</p> <p>大型車の走行、車両のすれ違い困難箇所の解消</p> <p>下浜道路へのアクセス道路としての役割</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
	事業費		850,000	30,000	90,000	120,000	610,000
	経費内訳	工事費	690,000		13,950	90,000	586,050
		用補費	69,000		55,000	14,000	
		その他	91,000	30,000	21,050	16,000	23,950
	財源内訳	国庫補助	560,000	21,000	63,000	84,000	392,000
		県 債	228,000	8,500	25,600	34,200	159,700
その他							
一般財源		62,000	500	1,400	1,800	58,300	
事業内容			道路詳細設計、用地測量、建物調査	道路土工、地質調査、橋梁予備設計、用地補償	道路土工、橋梁詳細設計、用地補償	道路土工、舗装工、橋梁下部工、橋梁上部工	
調査経緯	<p>H19道路概略設計</p> <p>H20道路予備設計</p>						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業						
関連プロジェクト等	国道7号「下浜道路」						
事業を取り巻く情勢の変化	幅員狭小で急カーブが連続しているうえ歩道がないため、交通安全上問題がある。国道7号「下浜道路」の完成にあわせたアクセス道路の確保。						
事業効率把握の手法	指標名	路線整備率					
	指標式	整備率(整備済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	71 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	71 %					
	達成率 b/a	100 %		把握の時期	平成22年 7月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	羽川地区の日常生活を支える道路であるが、幅員が狭く急カーブも連続しており、車両及び歩行者相互の安全な交通空間確保のためバイパスによる道路整備が必要である。	31 点
緊 急 性	通学路であるにもかかわらず幅員狭小で歩道もないため、児童・生徒の通学は常に危険な状態にさらされている。 (住宅密集地であるこの地域の混入率が14.0%と一般県道の平均値(10.8%)を上回っている)	15 点
有 効 性	住宅密集地を避けバイパスとして整備されることから地域住民の安全性が向上する。 下浜道路から工業団地へのアクセスが向上し、企業誘致など地域活性化にも有効である。	15 点
効 率 性	事業の費用便益は1.06であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 7.9億円 ・総便益の現在価値 8.4億円 計画交通量は1,200台/日となっている。 下浜道路と発生土の工事間流用を行うことで運搬コストを抑えている。	15 点
熟 度	下浜地区振興会から羽川地内のバイパス建設について要望書を提出されている。 羽川地区での事業説明会でも早期完成を要望されている。	15 点
判 定	ランク ()	91 点
	判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該箇所は、国道下浜バイパスのアクセス道路となる区間であるが、現道は、住宅が沿線に密集し、幅員が狭小な上に歩道未整備の状況にある。小中学校の通学路にも指定されており、交通の安全性確保の観点から、本事業の必要性及び緊急性は高く、事業の実施は妥当と判断される。なお、実施に当たっては、コスト縮減を図るなど、効率性の確保に努めるべきである。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	現道は、歩道もなく、狭小で危険な状況にある。また、国道下浜バイパスの開通に合わせ、事業路線を接続しなければならず、事業実施の優先度は高い。既存の市道を組み合わせたルートを選択するなど、コスト面の工夫はなされているが、費用便益比が1.06に止まっていることから、事業実施にあたっては、コスト縮減に努めるべきである。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト縮減に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (H22-建-新-03)
箇所名 (秋田市下浜羽川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	25	25	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	20		
	・最小半径 < 100m	1箇所	15		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	12		
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	9		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	6		
	・現道の事故率 50件	1件該当	3		
・通学路指定で歩道なし	該当項目なし	0			
・重大交通事故が発生					
計			40	31	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3		
		位置づけなし	0		
交通量	増加している	3			
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	15	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	5	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	5		
		該当しない	0		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5			
	該当しない	0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B / C)	1.0以上	8	8	
		0.5以上1.0未満	5		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7		
	500台/日以上1,000台日/未満	5			
	300台/日以上500台日/未満	3			
	300台/日未満	0			
計			15	15	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	5		
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	15	
合計			100	91	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		